

# けんころ

地方独立行政法人  
岐阜県総合医療センター  
Gifu Prefectural General Medical Center

- 令和6年9月発行
- 令和6年 秋号
- 発行責任者 桑原尚志
- 編集 総合医療センター広報委員会

## ご挨拶

岐阜県総合医療センター  
副院長兼内視鏡外科部長

河合 雅彦



新型コロナウイルス感染症が2023年5月8日に「5類感染症」となつてはや1年以上が経過しました。一時はコロナ前の生活に戻つたかと思われましたが、夏頃より再度陽性患者さんが急増し第11波の本格化が懸念されております。

さて、今年の大きな当センターの出来事と申しますと、2024年2月18日に新棟(南棟)の竣工式を行い、3月にオープン致しました。1階には放射線治療部門を本館より移し、①汎用型リニアック VersHD、②強度変調放射線治療 (IMRT) に特化した Radixact X9、③ピンポイントに放射線を集中して根治を目指す定位放射線治療に特化した CyberKnife STARC の放射線治療装置を整備し、より高精度な放射線治療を可能とします。2階は手狭となつた本館から外来部門を拡張。3階は高度な遺伝子検査などにも対応した

病理センターと手術件数の増加に対応するために主に外来手術を行う日帰り手術室を2室増設しました。4階は人材育成のための専用研修室(スキルラボ)やスタッフルーミング、会議室などを整備しました。

もう一つ今年の大きな出来事としては、医師の長時間労働が常態化している点や不十分な労働時間管理をしている医療機関に対する是正などを目的に、2024年4月より医師の働き方改革を推進するために医療法などの法改正が行われました。時間外労働の上限規制と医師の健康確保措置の適用、タスクシフト/シェアの推進、医療機関勤務環境評価センターによる第三者評価などが開始となりました。当院でも勤怠管理システムの導入や長時間労働医師に対する副院長医師による面接指導などを開始しております。また、時間外労働を削減するために診療科ごとにチーム制や複数主治医制、休日当番制の導入なども行っておりますのご理解を願います。また、患者さんや県民の皆様におかれましても、休日や時間外の軽い症状での救急外来の受診や医師への病状説明の面談希望などは極力お控えいただくよう、ご協力を是非よろしくお願い致します。

医師の働き方改革を推進し過重労働を減らしつつ、さらなるより良い医療を県民の皆様様に提供できるよう引き続き努力していく所存でございます。

### 子ども患者さんへの約束

1. あなたは、いつでもひとりの人として大切にされます。
2. あなたは、あなたにとって一番よい医療を安全に受けることができます。
3. あなたは、あなたの病気のこと、病気を治していく方法について、いつでも分かりやすく教えてもらうことができます。
4. あなたは、十分説明してもらったあと、自分の考えや思いを家族や病院の人に、いつでも伝えることができます。
5. あなたのことで、他の人に知られたくないことがあれば、秘密は守られます。
6. あなたは、病院では、できる限り家族や大切な人と一緒にいることができます。
7. あなたは、病院でも、勉強したり、遊んだりすることができます。

### 子ども患者さんへのお願い

1. あなたは、病気が早く治るために、あなたのからだや気持ちのことができるだけわしく病院の人たちに話してください。
2. あなたと同じように入院している患者さんが気持ちよく過ごせるように病院の約束を守ってください。

### 臨床倫理指針

1. 患者さんの人権、意思を尊重し、有益かつ公平な医療を行います。
2. 治療方針の十分な説明と同意に基づいた医療を行います。
3. 患者さんの個人情報保護し、医療者の守秘義務を遵守します。
4. 治療にかかわる法令を遵守し、ガイドラインに準じた医療を行います。
5. 院内の各種委員会(倫理委員会、治験審査委員会、臓器提供委員会など)の審議結果に基づいた医療を行います。

### 岐阜県総合医療センターの理念

県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。

### 岐阜県総合医療センターの基本方針

1. 岐阜県の基幹病院として急性期を中心とした医療を担当します。
2. 科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努めます。
3. 必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保します。
4. 地域の医療機関や福祉施設との連携を重視します。
5. 迅速かつ確実な医療とともに、効率的な病院運営に努めます。
6. 医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与します。

### 患者さんの権利と責務

1. 平等に安全で良質な医療を受ける権利
2. 十分な説明と助言のもとに自分自身の医療を決定する権利
3. セカンドオピニオンを受ける権利
4. 個人のプライバシーが守られる権利
5. 医療従事者と協力して医療に参加する責務

# 放射線治療について

放射線治療科 主任部長 梶浦 雄一

根治的な治療では、各癌腫にガイドラインがありますので原則的にはそれに準拠して行っています。どの領域の放射線治療も保険適応になりますので、ガイドラインに準拠しない場合でも、それが最善の選択肢であれば積極的に行っています。

また5月から運用を開始した南棟では、新たに導入した装置、ラディザクト（5月より）、バーサHD（10月から運用開始）、サイバーナイフ（来年4月より運用開始）で高精度の放射線治療を積極的に行っています。

詳細は病院のホームページ、がん医療センター→放射線治療部をご覧ください。適宜内容を更新しています。



南棟で実施する放射線治療についてはこちら



放射線治療部についてはこちら

## JATAS (Japan Triage and Acuity Scale) トリアージ

救急科 主任部長 豊田 泉

当院の救命救急センターは、1日に救急車は十数台、walk in（救急外来の受付に直接来院する）の患者さんは数十名、週末には100人以上の診察を行っています。救急車では事前情報により、診療にあたるスタッフの配置を調整することが可能です。しかし、walk inの患者さんの場合は、一見軽症に見えても、実は一刻も争う様な緊急対応が必要な状態であることもあります。その様な患者さんをピック・アップするために、当院ではJATAS（Japan Triage and Acuity Scale）を用いて、適切な診察順位の決定をしています。災害時に話題となる「トリアージ」の救急外来版です。JATAS研修を修了した看護師が、専用のPadに患者さんの訴え、状況、バイタルサインなどの情報を入力すると、レベル1（直ちに診察/蘇生）、レベル2（15分以内に診察/緊急）、レベル3（30分以内に診察/準緊急）、レベル4（1時間以内に診察/低緊急）、レベル5（2時間以内に診察/非緊急）が自動表示され、緊急度の判定ができる仕組みです。救急外来が混雑しても、2時間待ちとなることは滅多にありませんが、このエビデンスの高いシステムにより、隠れた緊急度の高い患者さんを見落とすこと無く、安心で安全な救急外来診療をすることが出来ます。



## 重症心身障がい児施設「すこやか」

小児療育内科 部長 金子 英雄

「すこやか」は、重症心身障がい児の支援をする医療型障害児入所施設です。重症心身障がい児とは脳の障害によって運動障害と知的障害の重複した障害を持つ小児です。重症心身障がい児は、自分で息をしたり食べたりすることができないため気管切開や胃瘻が必要になることが多いです。在宅でケアをする保護者の不安や負担は非常に大きいです。そこで病院から退院する前に数週間、「すこやか」で過ごし、気管吸引や胃瘻栄養の方法などの医療的ケアの保護者への指導や児が家庭で安全に過ごせるように助言を行っています。在宅で養育する保護者の方の負担を少しでも軽減するため短期入所にも力を入れています。短期入所は利用のご希望も多く、令和5年から入所の定員を増やして対応しています。また、令和6年度から短期入所のWeb予約が可能となるよう準備中です。これらの取り組みを通じて、「すこやか」は重症心身障がい児者とそのご家族を支援してまいります。



## 【日本消化器病学会東海支部 市民公開講座】のご案内

### 『明日から役立つ おなかの病気』

- 日時：令和6年10月20日（日）  
14:00～16:30
- 場所：岐阜県総合医療センター  
情報交流棟3階 講堂
- 参加費無料

\*当院4名の医師より、消化器疾患の最新の診断と治療（内視鏡検査、超音波検査、超音波内視鏡検査、ロボット手術）についてお伝えします。みなさんの参加をお待ちしています。



## 【岐阜県総合医療センター健康祭2024】のご案内

開催日時 2024年11月9日（土）13:00～16:30

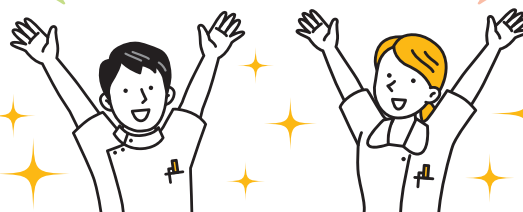
病院を知っていただく4つの講演・病院の仕事の体験企画・最新の放射線治療機器のご案内・検査・相談コーナー・コンサートを準備し、多くの方のご来場をお待ちしております。

講演：①消化管内視鏡 ②超音波検査  
③放射線診断 ④災害医療

体験企画：医師・看護師・助産師・薬剤師・検査技師・手術  
相談コーナー：薬・栄養・母乳育児

ぜひお越しください！

お待ちしております！





# 看護部からのお知らせ

## 『能登半島地震における災害支援ナースとしての活動』

災害支援ナース 相川 美咲

私は震災から約一ヶ月経過した頃、災害支援ナースとして能登半島地震の支援に行きました。災害支援ナースとは、被災地にて地域住民の健康維持・確保に必要な看護を提供するとともに、現地看護職員の心身の負担を軽減し支えることを行うチームです。支援場所はいしかわ総合スポーツセンターで被災地から避難されてきた方々が生活する場となっていました。利用者の体調の把握を行い、看護師だけでなく他職種との情報共有・連携をとり、医療や看護介入、リハビリなどその人にとって何が 필요한かを話し合い方針を統一しました。復興状況や、自己の健康に対する不安を抱いている被災者の方々が、安心感を少しでも得られるようにすることが必要であると考え、思いに寄り添うことができるような関わりを大切にしました。

今回の経験で、被災者の方々との関わりを細やかにもち、身体的ケアだけでなく、精神的ケアを行うことの重要性を学びました。また、災害支援ナースという勤務地も経験値も違う看護師同士が情報を共有しながら協力し合う姿勢が被災者の方々への安心に繋がっていくことを感じました。



# こんにちは 栄養部です

～『酒は百薬の長』！？～

第46回

一度はこの言葉を聞いたことがありませんか？実は医学的な知見に基づいた言葉ではなく約2千年前に新王朝の皇帝であった王莽(おうもう)という武将が、酒を政府の専売とし税を得るために挙げた文言だったといわれています。時は過ぎ鎌倉時代に記された徒然草には「百薬の長とはいへど、万の病は酒よりこそ起れ」と記され、飲酒と病気との関係が疑われ始めました。現代では様々な研究から多量の飲酒は好ましくないことが分かり、厚生労働省からは1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上で生活習慣病のリスクが高まるといふ報告が出されています。お酒には飲まれず、少しだけ飲む量や飲み方に気を付けてください。また、すでに節酒/禁酒の指示を受けている方々は必ず守りましょう。

純アルコール量20gのお酒の量

種類	Alc.度数	量
ビール	5%	500mL(ロング缶1缶or中瓶1本)
日本酒	15%	180mL(1合)
焼酎	25%	約110mL(0.6合)
ウィスキー	43%	60mL(ダブル1杯)
ワイン	14%	約180mL(1/4本)
缶チューハイ	5%	500mL(ロング缶1缶)

<公益財団法人長寿科学振興財団健康長寿ネットより>



毎年10月は  
がん検診  
受診率向上  
キャンペーン

がんによる死亡  
者数を減少させる  
ためには、

**早期発見  
早期治療  
が重要です**



広報紙「けんこう」第49号をお届けします。

取り上げてほしい情報などありましたら、お気軽にご意見をお寄せください。

岐阜県総合医療センター 広報委員会

〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号

TEL.058-246-1111 FAX.058-248-3805

Eメールアドレス info@gifu-hp.jp

ホームページアドレス <https://www.gifu-hp.jp>